

# 医療法人社団 満葉会 くぼのやウィメンズホスピタル

千葉県柏市

設計・監理／藤木工務店一級建築士事務所 インテリアデザイン／イリア  
施工／藤木工務店



増築棟外観\*

## さらなる安心・安全な医療環境の提供を目指して

本計画の特徴として、18床の有床診療所から40床の病院への発展があげられる。本院は、2020年に開業60年を迎える産院である。創業時より「お母さんや赤ちゃんに優しい産院でありたい」という理念のもと、周産期におけるトータルケアを実践してきた。評判も良く常に満床に近い状態であった当院の課題はベッドコントロールだった。余裕のないベッド数のなかで、多岐にわたる母子の状況を踏まえながら患者の要望に応える病室の割り当ては、病院運営のなかで常に悩みの種だった。加えて高齢・ハイリスク妊娠の増加、帝王切開等の産科手術や良性腫瘍等の婦人科手術の増加により入院日数が長くなる傾向にあり、今後も安心・安全な医療環境を提供し続けるために増床は当院の急務であった。隣接地に土地を取得できたことと県の病床配分のタイミングが重なり、事業が動き始めた。しかし有床診療所と病院とでは法律上の構造基準が異なる。特に廊下幅員とスプリンクラーの設置義務が現実的に高い壁となる。本計画においても当初は既存病棟18床に22床を付加する案で検討が進められたが、なかなか納得のいく案に至らなかった。また365日・24時間稼働し続ける医療現場で、居ながら拡張する工事は現実的に不可能だっ

た。そこで、病棟の心臓部であるスタッフステーション、分娩エリアと、ほぼ全ての病室を増築棟に移動する案にたどりついた。既存病棟は、患者家族のためのファミリーラウンジ・カフェラウンジの整備、厨房、リネン、仮眠室等バックヤードの拡充、小児診療エリアの拡充に充てられた。人数が増えてきた職員のための職場環境の向上も重要なテーマであったため、既存棟の病室をそのままバックヤードエリアに転換した。また補助金を活用し、既存棟全体にスプリンクラー設備を設置できたことも重なり、病院として新規開業が可能となった。

## 地域の街並みへの貢献

長年、地域医療に貢献し続けてきた当院が、この先も地域の方々から親しまれつづける施設であってほしいという想いから、ファサードは「地域の街並みへの貢献」をテーマとした。正面は既存棟を含め間口50mを超えるボリュームが通りに面する。道路面から外壁ラインを3mセットバックさせ、通りに対する圧迫感を抑えた。産院がもつ優しい雰囲気を外観に現れるように、温かみを感じられる外壁の色とし、それに対して豊かな緑が映えるシンプルで普遍的なファサードの構成とした。建物と道路の間に奥行き3mの植栽帯を設け、建物と地域の間ほどこよい距離感をつくる緑のカーテンのような役割をもたせた。

(高尾昌和／藤木工務店)



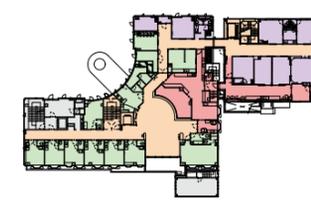
鳥瞰(北側より)\*



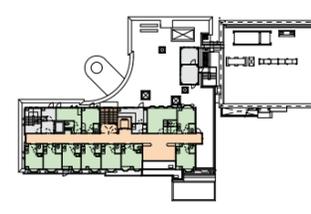
左上/エントランスサイン\* 右上/増築棟アプローチ\* 左下/風除室\* 右下/増築棟と既存棟を結ぶ1階メイン通路\*



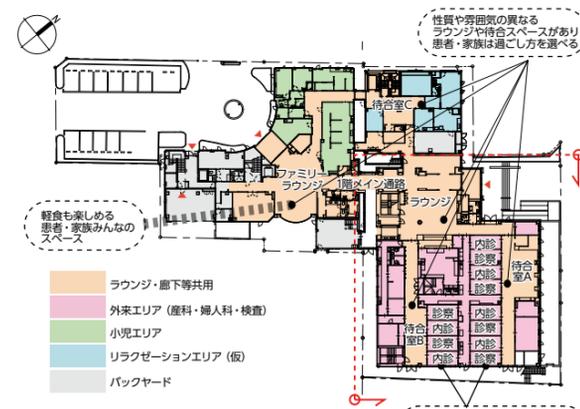
1階平面図(着工前)



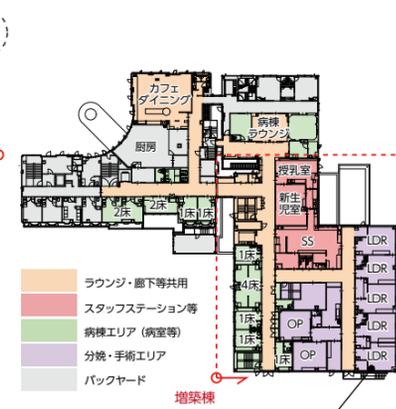
2階平面図(着工前)



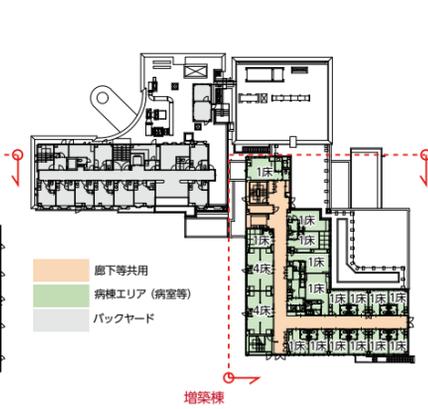
3階平面図(着工前)



1階平面図(竣工時) 縮尺1/1,200



2階平面図(竣工時)



3階平面図(竣工時)



上/ラウンジ 左下/家族ともゆったり過ごすことができる特別個室

畳コーナーを備えた特別個室

## インテリアコンセプトについて

「お母さんや赤ちゃんに優しい産院でありたい」という理念のもと、来訪者を優しくもてなし、人とモノ、人と人、人と社会、人と自然の絆を大切に深め、ホスピタリティあふれる産院として、お母さんと赤ちゃんの産前産後の生活をより豊かにすることをコンセプトとした。

病室は木の優しさに包まれながらも、お母さんの負担を少なくできるように、動線を短くする工夫をした。お母さんが産後に必要な調乳セットや洗面、冷蔵庫、茶器セット等を集約させたシステムテーブルをベッド近くに設

け、人とモノの結び付けを行った。お父さんの夜間付き添いが可能となるソファベッドを完備し、畳の病室も準備した。リビングのようなラウンジは、落ち着いた木目と暖炉のアクセントウォール、柏の市花である芝桜の緑をイメージしたカーペットで利用者を迎える。1人でもゆったり過ごせるソファやコミュニケーションを取りやすい対面ソファも準備。レストランも併設し、人と人を結びつける空間とした。

人が集い、コミュニティが形成されることによって人と社会が結びつき、お母さんと赤ちゃんの孤立化を防ぎ、ストレスや不安から

解放された楽しい妊娠生活、育児生活を送ることにつながっていく空間とした。また新しく立ち上げる新棟と既存棟を廊下で一直線につなげ、過去と未来をつなげた。過去はお母さんと赤ちゃんに寄り添い続けた産院の歴史、未来は生まれ変わった産院で、お母さんと赤ちゃんにより幸せをもたらす希望である。

自然環境に恵まれたこの地で、妊婦さんや赤ちゃんに健やかな時間を過ごしていただけるようできるだけ柏の自然環境を施設内に取り込み、人と自然を結びつけることで、ホスピタリティあふれる空間を実現した。

(林 晶子/イリア)



2階カフェダイニング「OLIVE」\*



上/待合室A(産科) 下/待合室B(婦人科)\*

## 運営しながらの増改築工事

運営中の既存棟に隣接する増築棟工事では外来エリア、病棟エリアに近接する工事場所では騒音・振動には配慮が必要であり、また



鉄骨建方工事(写真提供:藤木工務店)

防水工事の工法変更など臭気にも気を使った。病院スタッフの方々ととの工程調整では診察時間、授乳時間など院内スケジュールに配慮しながらも、常時専門の作業員が現場にいるわけではないので、この日のこの時間帯に、という作業手配にはかなり神経を使ったが、病院スタッフと作業員間で日々コミュニケーションを取ることで乗り切ることができた。

施工者の立場から言うと、建築主の満足度はもちろん、工事関係者の満足度も両立させることが最高のものづくりにつながると信じている。病院運営をされているなかでの工

事は緊張感もあったが、直接スタッフの皆様への要望や熱意が伝わる状況での工事は工事関係者のやりがいにもつながった。様々な課題をともに解決し、建築主と設計者・施工者が一体感をもって工期どおり無事オープンを迎えることができたことに感謝している。

(堀尾真也/藤木工務店)



**堀尾 真也**……ほりお しんや  
1970年大阪府生まれ。1994年大阪府立大学工学部建築学科卒業、1995年藤木工務店入社。くぼのやウィメンズホスピタル増改築工事業務所所長

## 医療法人社団 満葉会 くぼのやウィメンズホスピタル

**データ**  
所在地 千葉県柏市中央2-2-12  
主要用途 病院  
建築主 医療法人社団 満葉会  
設計・監理 藤木工務店一級建築士事務所  
担当/総括: 福嶋達也 建築: 高尾昌和、國本土史  
構造: 植松津人、小西周介 設備: 大森英明、竹田幸平 営業: 赤地将幸  
インテリアデザイン イリア  
担当/デザイナー: 林 晶子 FFE: 鈴木 香  
施工 藤木工務店  
担当/堀尾真也(工事所長)、執行正豊、佐藤一哉、八津川弘樹、富田俊介



**高尾 昌和**……たかお まさかず  
1981年岡山県生まれ。2007年首都大学東京大学院都市科学研究科都市科学専攻修了、同年藤木工務店入社



**林 晶子**……はやし あきこ  
1968年長崎県生まれ。1997年武蔵野美術大学造形学部基礎デザイン学科卒業、同年鹿島建設入社。2004年イリア出身。現在、同社インテリアデザイン部シニアチーフデザイナー

**設計期間** 2015年3月~2018年10月  
**工事期間** 2018年11月~2020年1月(増築棟)  
2020年2月1日~2020年5月(既存棟改修)

**【建築概要】**  
**敷地面積** 3138.23㎡  
**建築面積** 増築等998.78㎡、既存棟933.10㎡  
合計1,931.88㎡  
**延床面積** 増築棟2,556.57㎡ 既存棟2,648.32㎡  
合計5,204.89㎡  
**建ぺい率** 61.56% (許容63%)  
**容積率** 161.28% (許容200%)  
**構造規模** S造 増築棟: 地下1階、地上3階、塔屋1階  
既存棟: 地下1階、地上5階  
**最高高さ** 増築棟: 13.5m 既存棟: 17.93m  
**軒高** 増築棟: 10.51m 既存棟: 16.92m  
**駐車台数** 43台  
**地域地区** 近隣商業地域(準防火地域)、第一種住居地域(法22条区域)  
**【病棟概要】**  
**想定外来患者数** 120人/日  
**診療科目** 全2科 産婦人科、麻酔科  
**病床数** 全: 40床 1床24室、2床2室、4床3室  
**1床当延床面積** 130.12㎡  
**病棟基準階面積** 601.34㎡  
**1床当病棟基準階面積** 25.05㎡  
**【設備概要】**  
**電気設備** 受電方式/高圧3φ3W6.6kV 50Hz 変圧器  
容量/1φ100kVA×3台 3φ300kVA×1台 予備電

源/非常用発電機(LPG) 130kVA 屋外型  
**空調設備** 空調方式/外調機、ビル用マルチエアコン、ハウジングエアコン 熱源/電気式空冷ヒートポンプエアコン

**衛生設備** 給水/受水槽(14.8m)、加圧給水ポンプ方式  
給湯/中央式ガス給湯器、局所式ガス給湯器、局所式電気  
温水器 排水/直接放流(宅内汚水雑排水・雨水分流)

**防災設備** 消火/スプリンクラー消火設備、パッケージ  
型自動消火設備(既存棟改修)、消火器 排煙/自然排煙  
方式、告示 その他/自動火災報知設備、非常放送設備、  
火災通報設備、非常照明、誘導灯

**昇降機** 15人乗×1基(寝台用)

**特殊設備** 医療ガス設備(酸素) ナースコール設備、井戸  
水(植栽散水に利用)

撮影/ナカサアンドパートナーズ  
\*印撮影/フォトワークス

## 協力会社

電気設備工事	住友電設
給排水・空調設備工事	不二熱学工業
ステンレス配管継手納入	オーエヌ工業
金属製建具工事	コマニ
ガラス工事	川島ガラス
左官工事	千歳工業
家具工事	中込製作所
ナースコール	ケアコム
サイン工事	昭和工業
植栽工事	グランスケープ